

保護者からの事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和7年3月27日

事業所名 可児市こども発達支援センターくれよん 保護者等数(児童数) 153名 回収数 94名 (回収率61.4%)

		チェック項目	はい	だいたい そうであ る	どちらと もいえな い	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分にあるか	93.4	6.6	0.0	0.0	0.0	・自由に走り回ったり遊んだりできるので良い。	安全に留意し、お子さんにとって良好な環境の下で療育ができるように努めます。
	2	職員の人数や療育に関する専門性は適切であるか	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	・担任の先生だけではなく、いろいろな先生が声をかけてくれてすばらしいと思う。	お子さんの発達に合った支援ができるように、今後も職員の指導力を高めるよう努めます。 また、引き続き適正に職員を配置し、安全確保に努めます。
	3	子どもにとって施設・設備は使いやすいか。また、発達特性に応じ、事業所の設備などはバリアフリー化や情報が分かりやすいよう配慮が適切にされているか	78.0	16.5	1.1	0.0	4.4	・動き回るスペースが十分にあり良い。 ・くつ下を脱ぐ決まりがあるが、真冬は足が冷たく、子が脱ぐのを躊躇することがある。	今後もお子さんにとって使いやすい施設になるように努めます。 床が滑りやすいという理由の他に、足裏からの刺激をたくさん感じてもらいたいという目的もありますが、必要な場合は上靴の利用等、検討します。
	4	施設内は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	87.9	9.9	1.1	0.0	1.1	・子どもたちがストレスなく過ごせる空間になっていると思う。	感染症予防対策、清掃に心がけ、お子さんが、心地よく過ごせる環境を保つように努めます。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	84.6	13.2	0.0	0.0	2.2	・課題があれば都度教えてくれる。	お子さんの発達やご家族のニーズに応じた児童発達支援計画の作成と支援の実施、評価を重ね、今後もお子さんに合った支援を実施していきます。
	6	児童発達支援計画には、「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	84.6	11.0	2.2	0.0	2.2	・支援計画で聞き取りがあり、文章でまとめていただけるので分かりやすい。	一人ひとりのお子さんへの目標や具体的な支援内容、特性や発達段階に応じた支援方法などを設定し、保護者の方に提示させていただきま
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	89.0	8.8	1.1	0.0	1.1	・課題とされているところができるようになったと実感できる。	児童発達支援計画を基に、お子さんの興味関心や、強みを活かした療育が展開できるよう職員の研鑽に努めます。
	8	活動内容は子どもの課題に応じて、固定化しないよう工夫しているか	86.7	11.1	1.1	0.0	1.1	・今は同じ流れで進めてもらえて、子どもがわかって活動できることが出てきたのでありがたいです。 ・いろいろな活動をしてくれるのであきずに活動できている。 ・いつも、今日はどんなことをやるのかな～と楽しみにしています。	3～8名のグループ療育は、グループごとの発達や興味関心に合わせて、月毎に課題を変えて提示し、様々な課題を設定しています。 3ヶ月に1回、保護者の方に療育を見学していただく機会を設けています。
	9	保育園、幼稚園との交流や、園児と活動する機会があるか	51.6	16.5	11.0	8.8	12.1		・未就園児(年少児以上)を対象に、隣接した保育園の同学年と園交流を行っています。また、一部で幼稚園での園交流を実施しました。状況をみながら実施方法や回数について検討していきます。

		チェック項目	はい	だいたい そうであ る	どちらと もいえな い	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	10	くれよん利用にあたって、運営規程（事業の目的、内容等）、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	83.5	14.3	0.0	0.0	2.2		今後も利用開始時に、ICT機器を活用し、わかりやすい説明をしていきます。
	11	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	87.9	9.9	0.0	0.0	2.2		今後も年3回の保護者面談を行い、支援内容の提示や評価をさせていただきます。
	12	保護者に対しペアレント・トレーニング（お子さんの良いところのを見つけ方、ほめ方などを学ぶ機会等）が行われているか	75.8	14.3	3.3	0.0	6.6	・できないことに目を向けがちですが、できるようになったこと、成長した所を教えてください。 ・家で困っていることなどを毎回聞いていただき、アドバイスをしてくれるのでとてもありがたいです。 ・気づけなかったいい所をみつけて教えてもらえるので、普段でも探すことが増えた。	平成29年度から、主に年中児・年長児の保護者を対象に、ペアレント・トレーニングを行っています。継続していく予定です。また、今後も、療育後の懇談の中でも、ペアトレの考え方を伝えていけるよう努めます。
	13	日頃から、くれよんの担任と子どもの状況を伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	82.4	16.5	1.1	0.0	0.0	・その日子どもの様子だけで時間がなくなってしまう。子どもの状況はまめには伝えられない。 ・毎回、親身になって話して下さり、また聞いて下さるので感謝しております。 ・幼稚園での様子も担任の先生に聞いていただきありがたいです。 ・アドバイスを参考に、子どもと向きあうことができた。 ・とても細かくチェックして頂いてとても嬉しいです。 ・連絡ノートなどが無いので、もう少し話が出来る時間がほしかったです。 ・親である私の悩み相談も親身に聞いてアドバイスをくださって、とても心にゆとりができました。	・就園をしているお子さんについては、毎回の療育後に20分間の懇談の時間を設けています。また、未就園のお子さんについては、食事後の時間を懇談の時間とさせていただいております。支援員の担当するお子さんの人数や食事を食べ終わる時間等により、懇談時間が十分とれない場合があります。申し訳ありません。必要に応じて別の時間を設けてご家族の方の相談に今後も対応していきます。 ・保護者の方とは、可能な限り直接お話ができるよう工夫し、お子さんの発達について一緒に考えていけるよう努めます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	82.4	15.4	2.2	0.0	0.0	・毎回、困ったことはないですか？と聞いてくれるので相談しやすい。 ・日頃の声掛けのアドバイスを頂けるので助けられています。	・毎回の療育後に懇談の時間を設けている他、相談内容に応じて、担任や児童発達支援管理責任者と懇談の場を設けるなど、今後も必要な支援を行っていきます。
	15	親の会の活動の支援や、保護者同士の連携が支援されているか	32.6	31.5	18.0	2.2	15.7	・保護者同士の交流はあまりないかなと思う。 ・親の会があることは知っている。 ・そこまで親さんとは話せない時もある。（1～3歳の時は） ・他の保護者の方と話が出来たら、もっと良かったと思います。（特に、小学校どうする？ 保育園はどこに行くの？ など）	・親の会と共催の講演会を年2回、クリスマス会、資源回収を行っています。例年、講演会には、関係機関の方にも案内し、共に勉強する良い機会になっています。クリスマス会は、学年ごとに、2つのグループに分けて実施しました。 ・総会資料と共に親の会の活動紹介を年1回配布します。 ・保護者の方に、お子さんの療育中に待機していただく部屋（保護者控室）があります。その活用方法について検討していきます。
	16	相談体制が整備・周知され、保護者からの相談や申入れに迅速かつ適切に対応されているか	66.3	23.6	1.1	0.0	9.0	・幼稚園に通うことになり、悩むことが増えたことがあったが、相談したいと伝えてから迅速に対応してくれた。本当に助かりました。 ・担当の相談支援員さんがとても迅速に動いて下さるので変わってほしくないです。	就園や就学、病院受診などの相談は、今後も必要に応じて時間を設け、保護者の方の相談に応じられるようにしていきます。保護者の困り感に対応できるよう相談体制を再確認し、迅速に対応できるようにします。

		チェック項目	はい	だいたい そうであ る	どちらと もいえな い	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	83.1	12.4	1.1	0.0	3.4	・子どもへの伝え方を考えてくれますと素晴らしいと思う。	保護者の方との情報伝達における配慮等を検討し、今後もお子さんや保護者の方の困り感には迅速に対応できるようにしています。
	18	定期的に、活動や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	83.0	9.1	3.4	0.0	4.5		年4回3ヶ月ごとに療育日の予定を提示させていただいています。また、適宜連絡が必要な時は、『すぐーる』等を活用しています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	84.3	7.9	2.2	0.0	5.6		個人情報の取り扱いには、これからも十分に注意していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについて、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練がされているか	65.2	10.1	3.4	1.1	20.2	・子どもの緊急時（給食時の窒息、発作が止まらない、頭を打って意識不明等）の対応訓練がどの程度しっかりと実施されているのか知りたい。心配である。	・緊急時対応及び感染症対応に関しては、利用開始時に書面で提示し、口頭でも確認させていただいています。警報発令時などには、『すぐーる』等にて連絡させていただいております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練等が行われているか	59.6	9.0	9.0	2.2	20.2	・避難訓練がいつ行われているか知らない。 ・私が把握できていないだけです・・・。	・年3回、避難訓練の前にはポスターを掲示しています。当日療育のない保護者の方にも、訓練の実施について分かりやすいよう、『すぐーる』などで周知していきます。
満足度	22	子どもはくれよんに来るのをを楽しみにしているか	81.3	17.6	0.0	0.0	1.1	・すごく楽しみにしている。 ・家庭ではできない工作や、運動など、とても楽しんでいます。 ・くれよんで制作された物を保育園に持っていき、ほこらしげにみんなに見せる姿が見ていて嬉しかったです。	・お子さんの発達状況を的確に把握し、得意なこと、苦手なことを分析し、こんな援助を受けると‘できる’という自信や達成感が味わえるように支援しています。
			よかった	まあまあ良かった	どちらともいえな	よくな	よかった		・お子さんの発達のつまづきを把握するためには、行動を分析する力やそこへアプローチして行く指導力が必要です。その力を高められるように研鑽を積んでいます。
	23	くれよんに通ってよかったと思うか	97.8	2.2	0.0	0.0		・とても心強かったです。 ・食事指導、トイレトレーニングもしてもらえる。 ・くれよんに繋がったこと、とても幸運だと思っています。子どもにとってだけでなく、私(母)にとっても支えになっていただけていて救いになっています。子どもの保育園のクラスにくれよんに通っている子が計4人いて、4人のママでランチ行ったりしています。 ・どの先生方もよく子どもをみていてくださり、丁寧な指導してもらえました。	・今後も、お子さんが来所を楽しみにし、適切な発達支援が受けられる事業所を目指していきます。

この「保護者からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。